

(院内掲示ポスター)

## 「マムシ咬傷に対するプレホスピタルでの対処法および医療施設での治療法、および予後についての実態調査」

### 医学情報の研究利用について

北里大学病院救命救急・災害医療センターでは、このたび日本中毒学会 事例調査・研究委員会の活動の一環として『医療施設におけるマムシ咬傷の実態およびその対応についての調査』を全国150の施設と共同で研究を行うこととなりました。調査対象になるのは、平成23年1月31日から平成28年10月31日までにマムシ咬傷後に救急医療施設に搬送された方です。

調査項目は、年齢、性別、臨床症状、治療方法、予後などです。この調査項目はすべて既存のデータのみであり、データ上すべては匿名化され、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありませんのでご安心下さい。調査したデータは、埼玉医科大学病院救急科にて集計後、他の150施設から同様に送られてきたデータとともに、埼玉医科大学病院救急科において解析を行います。データについては、研究期間中(平成28年11月30日から平成30年3月31日)は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料・電子データは匿名化した状態で可能な限り長期間保存します。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで発表されることがあります。

本研究の調査対象の方で診療情報の研究への使用に同意されない方は平成29年7月30日までに下記連絡先までお申し出下さい。本研究への診療情報の使用を拒否された場合でも、それにより不利益が生じることは一切ありません。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、下記に遠慮なくお尋ね下さい。

北里大学病院救命救急・災害医療センター内研究担当者

北里大学医学部 救命救急医学 まるはし たかあき 丸橋 孝昭

電話:042-778-8111(代表)